



何香凝《獅》1914年

# 何香凝

## 藝術名作展

二〇一七年

九月一九日(火)から  
九月二九日(金)まで

◎会期中無休 入館料無料

一〇時～一七時(入館は一六時半まで)

主催 何香凝美術館、女子美術大学  
協力 (公社) 日本中国友好協会

後援 中華人民共和国国務院僑務弁公室、中華人民共和国駐日本国大使館、  
日本国際貿易促進協会、(一財) 日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、  
(一社) 日中協会、(一財) 日中経済協会、(公財) 日中友好会館、  
日本華僑華人聯合總會、全日本華僑華人連合会、  
相模原市、相模原市教育委員会



今年には日中国交正常化45周年にあたり、来年には日中平和友好条約締結40周年を迎えます。この節目の年に私立女子美術学校(現 女子美術大学)の卒業生である何香凝(1878~1972)を紹介する展覧会を開催いたします。本展は上野の森美術館(2017年9月5日~9月15日)で開催後、女子美術大学美術館に巡回いたします。何香凝は中国では女性政治家・芸術家として、その偉大な功績とともに広く知られています。その芸術活動と革命に捧げた生涯の始まりが日本でした。1903年に夫である廖仲愷とともに日本に渡り、女子美術学校に入学した何香凝はその後、20年近くにわたり東京で過ごし、多くの日本の友人と深い友情を築きました。その絵画作品には日中両国の文化交流とその融合が表されています。

松、梅、獅子、虎などを描いた作品からは、気迫に満ち、また深遠なる思いと志を貫いた何香凝の人柄が感じられるでしょう。本展では、代表作40点と12枚の歴史写真から何香凝の芸術とその生涯を紹介いたします。

本展が日中両国間の友好関係をより一層促進していき、日本の方々に何香凝の作品を身近に鑑賞してもらおう機会となることを期待しています。

## 何香凝美術館について

何香凝の絵画美術品を中心に収蔵・研究する機関として、1997年に設立された中国で初めての個人名を冠した国立美術館である。設立以来、何香凝作品の収蔵・展示・研究・普及を目的として活動を行っている。

### 何香凝(1878~1972)プロフィール

香港に生まれる。1897年、廖仲愷と結婚後、1903年来日。はじめ日本女子大学校(現 日本女子大学)の学監夫妻に日本語を学ぶ。1908年、長男廖承志を出産後、1909年私立女子美術学校日本画撰科高等科に入学。同校で端館紫川に指導を受ける一方で、日本画家の田中頼璋に師事した。1911年、同校卒業。その後、孫中山(孫文)、廖仲愷らとともに中国革命と近代化運動に取り組み、1924年国民党婦人部長となる。路綫の違いから蒋介石ともを分かった何香凝は戦後、中国国民党の幹部となり、中華人民共和国成立後は、全国人民代表大会常務委員会副委員長、中国美術家協会首席、中華全国婦女連合会名誉首席などを歴任した。その一方で制作活動も続け、94歳で亡くなる。

講演 | 日程：9月20日(水) 時間：16時~17時20分

会場：女子美術大学 相模原キャンパス1011スタジオ

写真と写意：画家何香凝の画風の変化について

講師：蔡涛(Tao CAI、ツァイ・タオ)美術史博士、  
 広州美術学院芸術学研究所准教授、修士大学院生指導教員  
 1997~2011年 広東美術館で研究を行い、キュレーターを務める  
 2011~ 広州美術学院教員  
 研究領域：中国近現代美術史、東アジア近代美術交流、戦争と視覚文化

### 概要

何香凝は中国近現代史上において著名な政治活動家、また女性芸術家であり、その芸術と生涯は自ら経験した近代革命の道程と密接に繋がっている。一方、初めて海外で現代美術を学んだ中国の芸術家の一人として、何香凝は1909年に東京の本郷にある女子美術学校に入学、日本画を勉強し始めた。この留学経験を基に、現代芸術家としての多文化的視野が広がったのである。初期から日本の画風に影響を受け、写実的な狂歌の絵を描き始めたが、中後期に入ると伝統的な文人の画風が一段と強まった。このような芸術スタイルの変遷から近代東アジア美術史上の発展過程の意義深さが見えてくる。



何香凝〈松・菊〉1931年

女子美術ミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス

Tel : 042-778-6801 Fax : 042-778-6815

E-mail : museum@venus.joshibi.jp URL : http://www.joshibi.net/museum/

交通案内

- ①小田急線相模大野駅北口3番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約20分  
 ※平日・土曜日の午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場より乗車
- ②JR 横浜線古淵駅2番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約15分
- ◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください

